

グリエツィ

グリエツィ

vol. 29

2005年 春号

編集 Intercultura A.NOJIMA

編集責任 Atsushi NOJIMA

連絡先 Bahnhofstrasse 71

CH-6460 Altdorf (スイス)

Tel/Fax +41 (0)41 870 27 28

E-mail: ap.nojima@bluewin.ch

http://mypage.bluewin.ch/gruezi/



スイスと日本を結ぶ生活情報・交流紙

(スイス・ドイツ語で「こんにちは」)

Schweizerisch-Japanische Zeitung



11歳から14歳の子供のジャズバンド

Swing Kids 日本公演 2005年10月7日～21日

ボーデン湖に面した町、ロマンスホルン。
その駅前にあるホテル・レストランBodanで
毎月1回Brunch & Lunchコンサートが行われ

ています。登場するのは、10代前半の子供たちのジャズ・ビッグバンド
Swing Kids。ロマンスホルンを拠点にしてThurgau(Thurgovie)の音楽学校
でトランペットとトロンボーンを教える木元大(きもと・だい)さんが指
導しています。10代前半の子供たちが醸し出す音は、大人顔負けのもので、
彼らのコンサートを聴いた人からは、驚きと絶賛の声が挙がっています。
このSwing Kidsが今年の10月7日から21日に日本ツアーを実現します。
Swing Kidsの誕生から日本ツアーに至る経緯などについて、バンドの生み
の親、育ての親の木元大さんに話を聞きました。



Swing Kidsの練習風景。指揮するのが木元大さん

ジャズ・トランペット奏者、木元大さん

実は、木元大さんは、『グリエツィ』第
9号(2000年春号)の「スイスの日本人」
で登場願いました。ロマンスホルンで行わ
れた市民ぐるみのミュージカル上演で活躍
したことを紹介しました。木元さんは、地
元の音楽学校でトランペットとトロンボ
ーンの個人レッスンをやりながら、2つのグ
ループを指導しています。一方、個人プロ
ジェクトとして、Swing Kidsをはじめ青少
年のビッグ・バンドBlack Jacketの指導、指
揮をしています。2000年に行われた市民ぐ
るみのミュージカルの時のコーラスが継続
し、その指揮も続けてやっています。文字
通り、地元を根を張り、とけ込んで活躍
している日本人です。木元さんのこうした活
動が高く評価され、この4月23日には、地
元のロータリークラブから文化功労賞が授
与されることになっています。

2002年9月子供だけのジャズバンド誕生

木元さんは、音楽学校で個人レッスンを
受けている生徒の中で、積極的な子供たち
に注目し、2002年に子供のジャズ・バン
ドを編成しました。バンドは、ドラム、バ

ースギター、サクソフォン、トランペット、
トロンボーンで編成され、まだまだ幼い顔の
子供たちが、大人顔負けの演奏を披露してく
れます。木元さんが、参加希望の子供たちに
出す注文は、徹底してやってほしいというこ
と。一つのことを集中してやっていくことが
とても大切な点を強調しています。こうして、
やる気のある子供たちが参加し、その中で、
才能のある子供たちがグループを引っ張って
いくこととなります。同時に木元さんが強調
することは、「難しいことを無理してやるよ
り、易しいことを上手に表現する」という点
です。こうして子供たちが自信を持っていけ
ると言います。毎週の個人レッスンを基礎に、
全体の練習を週2回、セクションの練習を月1
回行います。ジャズバンド編成後、8ヶ月で
はじめてコンサートのステージに立ちました。
昨年9月に行われた東スイスアンサンブルコ
ンクールでは、24歳までがエントリーでき
るという条件の中で、参加19グループの内、な
んと3位に入賞するという快挙を遂げました。
以来、Swing Kidsの注目度は、日増しに急
上昇しています。5月5日21時から、ドイツ語
圏スイステレビ(SF1)のFensterplatzに出
演が予定されています。

Swing Kids日本ツアー2005年10月7日～21日

木元さんが、今から2年近く前に、昔一緒
に音楽をやっていた金沢の知人に、
Swing Kidsについて話をしたところ、
冗談半分に、是非日本に呼びたい、と
いいたのがSwing Kids日本ツアー
のそもそもの出発点でした。その後、
木元さんの故郷、岡山県倉敷の同級生
たちが、折角日本に来るなら、是非倉
敷にも来てほしい、という話が出てき
て金沢と倉敷でコンサートをやる話が
まとまりました。そんなことを京都に
いる友人に話したら、それなら、京都
は通り道になるから、京都でもやらな

いか、と話が広がり、更に在大阪・神戸ス
イス総領事館主催のコンサート、神戸港10月祭
でのコンサートも入り、2週間の日本滞在中
に12回のコンサートが予定されています。そ
して、各地で地元のバンドやグループとのジ
ョイント・コンサートも予定され、文字通り
「草の根の交流」へと発展していくことにな
ります。

木元さんは、Swing Kids日本ツアーのウ
ェブサイトで、日本ツアーの目的について次
のように紹介しています。

「今回のツアーの目的は両国の友情を高め
ること、若い世代に国際交流の必要性を感じ
させること、音楽の素晴らしさ、偉大さを世
にアピールすること、スイングジャズの楽し
さ、素晴らしさを一般の人にももっと知って
もらうこと、そして私たちが最も期待するこ
とは、たくさんの子供たちが音楽の楽しさに
目覚め実際に楽器を演奏したいという気を起
こさせることです。音楽ほどこの世界で素晴
らしいものはありません。真の世界平和への
道にとって音楽はどんな武器より強いもので
はないでしょうか。またSwing Kidsが益々
成功の道をたどり、今回少しでも余ったお金
があればそれで他国の貧しくて楽器が買えな
い子供たちに楽器を寄贈するのも私たちの大
きな願いです。みなさんどうか応援して下さい。」

音楽を通じて国際交流を

数年前、木元さんは、バルカン半島で大変
有名なアルバニアの歌手カストリオト・ツ
ーシャさんと知り合いました。ツーシャさん
の招きで2年前にアルバニアに行き、コンサ
ートでソロを演奏しました。その時、シンフ
ォニーオーケストラの若い人たちが来て、
ジャズバンドを作りたいが、指導してほしいと頼
まれました。木元さんは、その時、スイスの
ジャズバンドを連れて必ずアルバニアに来る
ことを約束しました。その資金集めも兼ね、



Brunch&Lunchコンサートの合間に食事をするSwing Kidsメンバー

(次のページに続く)